

▼各常任委員会での質疑の主な内容は次の通りです。

【総務経済常任委員会】

◎税務課所管

Q 納税組合が今年度いっばいで解散となるが、存続を希望する組合はなかったか。

A 特にありませんでした。

◎住民課所管

Q 今後、C型肝炎治療薬による医療費の上昇はないのか。

A 新たにC型肝炎と認定され新薬を利用した治療を行わない限り、上昇しないと思われる。

Q 法改正により運転免許証を返上する高齢者が増えるの見込まれる。村としてデマンドバスや乗り合いタクシーの運行を考えていくべきではないか。

A 来年度からの実証実験を申し込んでいます。具体的に話が進

めば予算を計上し、実証実験を実施する予定です。

◆要望

消防団のホース乾燥ウィンチは、安全面を考え、要望のあった分団には設置してほしい。

◎健康福祉課所管

Q よもぎた児童クラブはいっつまで農構センターで実施するのか。

A 蓬田小学校に空き教室があれば、小学校に戻り実施したい。

Q 4～5歳児対象のフッ化物洗口が始まったが、薬害等はないか。

A 国内では発生していません。薬剤の原液を誤飲しなければ発生しないと思われる。



フッ化物洗口：

子どもの虫歯予防対策として、各こども園で始まった。薬剤を水で薄めた液でうがいをする。

◎産業課所管

Q 村内で鳥インフルエーザが発生した場合の対応策と、罹患した鶏等の廃棄場所は、A 県等と連携し対応する仕組みがあり、対策会議も開かれています。廃棄場所は各農場内での対応となります。

◎道の駅駐車場調査について説明会を開催したそうだが、その内容は。

A 測量調査の内容や、道の駅の現状における課題について説明しました。道の駅建設当初から騒音等の不満があり、防音柵や遮光について対策するよう強く求められました。

◎地域整備課所管

Q 中学校敷地造成で傷んだ舗装は修繕するのか。

A 本年度は表層のみの打ち替えで、修繕可能な範囲を選定し修

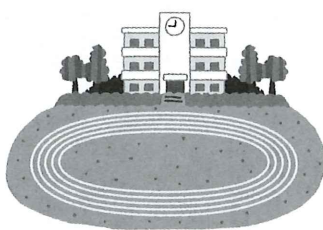
繕します。2力年度で蓬来内まで修繕を予定しています。

◎教育課所管

Q 中学校校舎建築工事が何月頃終わるのか。

A 住民に周知すべきでは。また、グラウンドはどのように整備するのか。

A 工程会議では6月に完成予定となっています。生徒を新校舎へ入れるのは2学期からと考えています。本格的なグラウンド整備は状況をみながらとなりますが、授業で利用できるようなバックネットや敷地周辺のフェンス設置などを行います。



総務経済常任委員会

委員会所管の現地視察調査では、村道1326号線道路改良舗装工事（九生滝字大道地内）、小館地区用排水路整備工事（駒形字小館地内）など、村内11か所を現地視察しました。

道の駅ひらた駐車場整備は、地権者及び周辺住民の合意をもって事業を進め、地元との信頼関係を構築し、合意が得られなければ事業の中止、休止を判断することも念頭におきながら、説明責任の向上に努めるよう望みます。

農業・集落を取り巻く状況は厳しさをますますかかります。こうした状況を打破するため、農業基盤整備を積極的に展開し、さまざまな特産物の開発等による農業振興を図り、元気で活力のある農村の実現、特色ある農村の取組みを積極的に展開するよう要望しました。



△ひらた清風中学校配水管及び排水布設工事現場で説明を受ける総務経済常任委員会委員

【文教厚生常任委員会】

◎総務課所管

Q 道の駅駐車場の拡張整備に対し、議員全員異論は無いが、事業の進め方に問題があると考えている。

A 地権者の同意が得られなければ立体化も視野に入れ、補助金を返還しない方法で考えて欲しい。

A 地権者からも立体化の案が出されているので、平面、立体の2通りのパターンで設計を考えたい。

◎住民課所管

Q 西山真弓地内に設置された自発光障害物表示灯設置は補助金を使って設置したもののか。

A 交通安全対策特別交付金の一部を使用し設置しました。

Q 来年以降、国の国保支援金が減額されるそうだが、一人あたりの保険料負担額が増えるのはいつ頃か。

A 国でも先延ばししている、時期はまだ不明です。

Q 今年度設置するLED防犯灯は何基か。

A 今年度は東北電力から20基寄贈され、蓬田小平地区にそれぞれ10基ずつ設置する予定です。

◎健康福祉課

Q 近年、認知症の方が行方不明になる事例が発生している。事故を未然に防ぐためGPS端末を身につけてもらうなど、本村でも何らかの対応が必要では。

A 村ではGPS端末を3台導入し、利用している方もいます。利用する場合は当事者の家族から申請してもらうことになりませんが、GPS端末は3日に1度充電が必要で、電池切れが一番心配です。

Q 今年度の子どもの出生数の見込みは。

A 30人弱の見込みです。

◎産業課所管

Q 村内のタマネギ生産面積はどの程度か。

A 直売所向けの栽培が主で、あまり大きくありません。今後は営農栽培へ拡大できるように指導していきたい。

Q 今年度のイノシシの捕獲頭数は。

A 今のところ86頭です。イノシシ被害が拡大しないよう、山の手入れ方法等を周知する必要がありますと考えています。

◎地域整備課所管

Q 後川団地の取り壊しの予定はあるのか。

A 後川団地は修繕し、入居できる状態にします。入山団地と橋本団地は入居者が退居次第、取り壊す予定です。

◎教育課所管

Q 現段階での、こども園建設までの大まかな予定を教えてください。

A 29年度に方向性と場所の選定、30年度に設計、31年度着工としたい考えです。財源は過疎債の一部活用も視野に入れていきます。場所の選定やこども園を何力所にするのが問題になります。

Q スクールバスについて。年度で児童生徒が入れ替わる場合、バス停の場所は変更するのか。

A バスの路線は、概ね基本路線としていますが、バス停の位置変更については検討します。



文教厚生常任委員会

委員会所管の視察調査については、ひらた清風中学校校舎・屋内運動場新築工事状況を視察しました。これから作業条件の悪い冬季節に入ることから、品質の良い構造物を建設するため、現場では十分に現場管理を行なっている現状を確認しました。

両こども園は築44年以上経過し老朽化が進んでいることから、早急に施設整備されるよう引き続き要望しました。今後は候補地の選定から園舎の建設まで、親が安心して子どもを預けられる施設になるよう、各層から十分に意見を聴き、安全性、利便性を考慮し、極力少ない投資で整備されるよう強く要望しました。



△ひらた清風中学校校舎建築工事状況の視察